



# 丸小だより

～ 実践目標 自分が輝く、みんなも輝く ～

横浜市立丸山台小学校 学校だより  
8・9月号  
令和4年8月29日(月)

## 今年の夏は

校長 倉本 恵

昨年の今頃を思い出してみてください。1年延期となったオリンピックが閉幕し、パリオリンピックが始まったものの、緊急事態宣言期間中で、夏休み終了が延び、そして分散登校や緊急受け入れ等が始まりました。

今年の夏は、地球上を見渡せば、あちこちで災害が起き、コロナの流行も戦争も収まらず、心が痛んだこともありました。

一方身近なところでは、私の着任前に実施されていた丸山台保育園での職員研修や、9月に予定されている丸山台中授業参観研修会準備を、今年の夏休みは行うことができ、うまく言えませんが、昨年と比べたら、私には何か少しは光がある夏だった気がします。

個人的には、この夏私は90歳を超え要介護5になった母のいる実家に、なるべく足を運ぶようにしました。ベッドにぼんやりと座っていることが多い母ですが、昔のことになると驚くほど鮮明に話をし始めます。

私の両親は子どもの頃に戦争を体験しています。実家には祖母も一緒に住んでいました。ですので、私が子どもの頃は、8月6日と9日の原爆の日や15日の終戦記念日には、祖母や両親から戦争中の話を聞くのが常でした。家族で旅行をしたり、お祭りに行ったり楽しいこともあるけれど、戦争の恐ろしさを感じながら今の平和に感謝するのが、我が家の夏休みという思いがありました。

「おばあちゃんが『すいとん』を作って、毎年終戦記念日に食べたよね」と母に話しかけると、ゆっくりゆっくりと「おばあちゃんが作ってくれていたすいとんは、味が良すぎ。本当のすいとんの具は、その辺の葉っぱや茎ばかりで、もう食べたくないねえ。」と話します。その後、疎開していた時に話が及び、疎開先のお寺にある実家の墓のことになり、お盆のお墓参りを欠かさないとお説教をされました。お説教もこの歳になると、素直に聞くことができます。久しぶりに父方と母方のお墓参りに行こうと前向きな気持ちになり、祖母のことを思い出しながら、念入りにお墓掃除をしてお参りをしてきました。

保護者の皆様や地域の皆様にとっては、どのような夏でしたでしょうか。

さて、今日から子どもたちが学校に戻ってきましたが、いつ誰が感染するかわからない状況は続きます。昨年度の学校だよりも書きましたが、ぜひ感染した人や症状のある人を特定しようとしたり責めたりせず、思いやりの気持ちを持ち、登校してきたときに、温かく迎えるよう一人一人が心がけていくことを、これからも続けましょう。

### 保護者の皆様へ

- 熱中症予防のため、登下校時に私語は控えてマスクを外してよいことを、ご家庭でも子どもたちへの声掛けをお願いします。
- 毎朝の健康観察は、できるだけロイロノートへの入力をお願いします。
- 欠席・遅刻・早退の場合は、ロイロノートへの入力または学校への電話連絡をお願いします。(集団登校期間中は、出発時刻までに登校班の方への連絡もお願いします。ただし、コロナ禍の状況を鑑み、連絡帳を他のご家庭にお願いすることはお控えください。)
- 体育の見学等、その他連絡事項は、ロイロノートではなく連絡帳でお知らせください。
- 学級閉鎖になった場合、お子さんが日中過ごす場所等の見通しをあらかじめ立てておいていただくよう、お願いします。

### 地域の皆様へ

8月29日(月)から9月2日(金)までの集団登校期間は、PTA校外委員さんが中心となり、保護者の方々が登校の見守り活動を行います。また、自由登校初日の9月5日(月)から、9日(金)までは、保護者の方と職員で分担して登校見守り活動を行います。